

経済状況及び動向等資料

今後の事業資金融資あっせん制度の方向性について、下記の動向及び実績等から検討する。

記

- 1 月例経済報告及び地域経済動向等の概況
- 2 東京都内の中小企業の景況
- 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

1 月例経済報告及び地域経済動向の概況

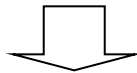
(1) 月例経済報告〔内閣府〕

① 景況判断(最近3か月間)

<令和6年6月>

景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

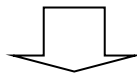
先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。



<令和6年7月>

景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。



<令和6年8月>

景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

② 月ごとの主要指標の変更点

	6月月例報告	7月月例報告	8月月例報告
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる。	—	一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
設備投資	持ち直しの動きがみられる。	—	—
住宅建設	弱含んでいる。	—	おおむね横ばいとなっている。
公共投資	底堅く推移している。	堅調に推移している。	—
輸出	持ち直しの動きに足踏みがみられる。	おおむね横ばいとなっている。	—
輸入	おおむね横ばいとなっている。	—	—
貿易・サービス収支	赤字となっている。	—	—
生産	このところ持ち直しの動きがみられる。	—	—
企業収益	総じてみれば改善している。	—	—
業況判断	改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。	改善している。	—
倒産件数	増加がみられる。	—	—
雇用情勢	改善の動きがみられる。	—	—
国内企業物価	このところ緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。	—
消費者物価	緩やかに上昇している。	—	—

(2) 地域経済動向(令和6年2月)－南関東地域－〔経済産業省〕

	令和5年11月		令和6年2月
景況判断	一部に足踏みがみられるが、 緩やかに回復している	⇒	－
個人消費	持ち直している	⇒	－

2 東京都内の中小企業の景況(東京都産業労働局商工部調べ)

(1) 最近4ヶ月の景況

調査月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月
業況	再び上向く	ほぼ横ばいで推移	やや下向く	わずかに上向く
見通し	改善期待に一服感	先行き懸念	慎重な見方、わずかに強まる	4か月ぶりに改善

3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

(1) 都内の状況

令和6年6月の倒産件数は、146件(前年同月比10.6%増)となった。

業種別件数ではサービス業(40件)、情報通信業(26件)、卸売業(21件)、の順となった。

令和6年7月の倒産件数は、140件(前年同月比6.0%減)となった。

業種別件数では卸売業(24件)、建設業(23件)、サービス業(22件)の順となった。

令和6年8月の倒産件数は、143件(前年同月比7.1%減)となった。

業種別件数ではサービス業(37件)、卸売業(24件)、情報通信業(23件)の順となった。

(2) 多摩地域の状況

令和6年6月の倒産件数は、25件(前年同月16件)となった。
業種別件数では、情報通信・運輸・郵便業5件、建設業、製造業、サービス業4件の順となった。

令和6年7月の倒産件数は、22件(前年同月21件)となった。
業種別件数では、建設業、製造業6件、宿泊業・飲食サービス業4件となった。

令和6年8月の倒産件数は、13件(前年同月17件)となった。
業種別件数では、建設業3件、製造業、小売業、宿泊業・飲食サービス業、サービス業2件の順となった。

(3) 西東京市内の状況

令和6年6月の倒産件数は、1件であった。

令和6年7月の倒産件数は、1件であった。

令和6年8月の倒産件数は、0件であった。

◎ 全体的な傾向の考察

項目	指標	傾向
経済情勢	月例経済報告・地域経済動向・東京都中小企業の景況	月例経済報告・地域経済動向：緩やかな回復が続くことが期待されるが、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 東京都中小企業の景況(8月)：わずかに上向く。
倒産件数	都内の中小企業の倒産件数の3か月合計(6、7、8月)	多摩地域：60件。 西東京市：2件。